

岩高短歌
「ワタシタチノウタ」
月間優秀賞作品 R5②

発行者
岩出山高校
国語科

優良賞

いちご狩り照れるあなたの横顔はキュン死する甘々な記憶

夢をみた君の笑顔でわからない現実との境界線

目が覚めて時計を見たら朝6時どんな夢かを思い出す日々

曖昧な正夢起きる日々の中起きるな逆夢幸福願う

新緑の靡く夏風爽やかに陽の指す草木白昼夢かな

真っ白な己の行く道憂い悩むどうか人生彩り溢れん

山や川自然と生きるこの場所で夢がなくとも夢に羽ばたく

白色のワイシャツ共になびく風そろそろ夏が来る時期だね

〔五月〕 白色・岩出山・夢・地区総体・食べ物・台所

月間賞

白雲へ手を伸ばせども届かずに空を切る腕眺めて眠る

第二席

こいのぼり白く大きなわたあめを食べれるまではあきらめない

第三席

ひよっこりとシロツメグサが立っていた王になったな小さな思い出

誰にもね内緒のあの子は夢の中目覚めてしまえば心の中に

病持ち病院にて家族待つ子の肌白くなりつつあり

鈴蘭の花を送ろう君にあて花を贈ると気持ちも届く

原っぱにねころがりたい草の上5月の風と青空の下